

中学生でも解ける東大大学院入試問題（147）

2015-03-22 11:05:38

こんにちは。東久留米市の学習塾塾長です。

晴れて良い天気になりました。近所の滝山名店会では毎週日曜日に朝市をやっていて、好天のおかげもあってか賑やかでした。

さて、今回は平成23年度東大大学院工学系研究科システム創成学の入試問題です。

問題は、

「1回300円で引けるくじ引きがある。くじには1から4のいずれかの番号が書かれていて、4種類の景品のうち、番号に対応する景品と交換することができる。くじを引き続けて、4種類全ての景品を手に入れるまでにかかる費用の期待値を求めよ。ただし、くじは1から4の番号が等確率で出るものとし、これはくじを引き続けても変わらないものとする。」

です。

4種類全ての景品を手に入れるのに必要なくじを引く回数を求めて、それに1回のくじ引きの代金300円を掛ければ、それにかかる費用の期待値を求めることができます。

ここで、 n 種類の景品を手に入れるのに必要なくじを引く回数の期待値 $E(n)$ が、

$$E(n) = n \left(1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \cdots + \frac{1}{n} \right) \quad (1)$$

であることを知っていれば、(1)に $n = 4$ を代入し、

$$E(4) = 4 \cdot \left(1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} \right) = 25/3$$

となり、これにくじを引く代金300円を掛ければ、4種類全ての景品を手に入れるまでにかかる費用の期待値を求めることができ、それを E とすると、

$$E = 25/3 \times 300 = 2500 \text{ (円)}$$

となり、これが答えです。

ここで使った(1)が成立することを証明するには、期待値の線形性（和の期待値は期待値の和）を使うのが一般的です。

まず、 X を全ての景品を手に入れるために引かなければならないくじの回数、 X_i を新たな景品を手に入れるまでに引かなくてはならないくじの回数とすると、

$$X = X_1 + X_2 + \cdots + X_n$$

となり、その期待値 $E[X]$ は、

$$\begin{aligned} E[X] &= E[X_1 + X_2 + \cdots + X_n] \\ &= E[X_1] + E[X_2] + \cdots + E[X_n] \quad \leftarrow \text{(期待値の線形性)} \end{aligned}$$

となります。

ここで今、 $(i-1)$ 種類の景品を手に入れているとして、新しい景品を手に入れる確率 p_i は、

$$\begin{aligned} p_i &= (n - (i - 1)) / n \\ &= (n - i + 1) / n \end{aligned}$$

となり、 $E[X_i]$ は p_i の逆数なので、

$$E[X_i] = n / (n - i + 1)$$

となります。

したがって、

$$\begin{aligned} E[X] &= E[X_1] + E[X_2] + E[X_3] + \cdots + E[X_{n-1}] + E[X_n] \\ &= n/n + n/(n-1) + n/(n-2) + \cdots + n/2 + n/1 \\ &= n \left(1/1 + 1/2 + \cdots + 1/(n-2) + 1/(n-1) + 1/n \right) \end{aligned}$$

と(1)を導くことができました。

また、期待値の漸化式を立式して証明する方法もあります。

まず、 i 種類の景品を手に入れている状態から、全ての景品を手に入れるまでに引かなければならないくじの回数の期待値を $E(i)$ とします。

つまり、 $E(0)$ が景品を1つも手に入れていない状態から n 個の景品を手に入れるまでに引かなければならないくじの回数になり、これが求める期待値になります。

そこで、 i 種類の景品を手に入れている状態で、1回くじを引いたとき新しい景品を手に入れる確率を考えると、それは $(n-i)/n$ になります。

つまり、新しい景品を手に入れるまでに引かなければならないくじの回数の期待値は、 $n/(n-i)$ になるので、

$$E(i+1) = E(i) + n/(n-i) \quad (2)$$

が成り立ちます。ここで、 $E(n) = 0$ です。

(2) から

$$\begin{aligned} E(0) - E(1) &= n/n \\ E(1) - E(2) &= n/(n-1) \\ E(2) - E(3) &= n/(n-2) \\ &\vdots \end{aligned}$$

$$E(n-2) - E(n-1) = n/2$$

$$E(n-1) - E(n) = n/1$$

を得ます。

そこで、これらの左辺、右辺を足し合わせ、 $E(n) = 0$ を代入すると、

$$\begin{aligned} E(0) &= n/n + n/(n-1) + n/(n-2) + \cdots + n/1 \\ &= n \left(1/n + 1/(n-1) + 1/(n-2) + \cdots + n/2 + n/1 \right) \\ &= n \left(1 + 1/2 + \cdots + 1/(n-2) + 1/(n-1) + 1/n \right) \end{aligned}$$

となり、 (1) を得ることができます。

(1) は調和数列と言って綺麗で覚えやすい式なので、等確率で当たる n 種類の景品を全て手に入れるのに必要なくじを引く回数が (1) になることを覚えておくと役に立つかも知れません。

[東久留米の学習塾](http://caitakiyama.jimdo.com/) 学研CAIスクール 東久留米滝山校

<http://caitakiyama.jimdo.com/>

TEL 042-472-5533